

摂津市の洪水被害想定について

【地形】

- ・一級河川 淀川・安威川が流れる
- ・山が無く、低平地

【浸水の状況】

- ・安威川南部では、ほぼ全域が浸水
- ・2週間以上の浸水が継続

【避難所・避難対象者】

- ・人口 86,743人 (R3.1.6時点)
- ・要避難者 61,900人
(安威川以北21,000人、以南40,900人)
- 内、要支援者 約3,600人
- ・避難先 5,496人
- 内、避難所3箇所 640人
- 緊急避難場所32箇所 4856人

➔避難所の多くが浸水エリアに立地
圧倒的に避難所が不足

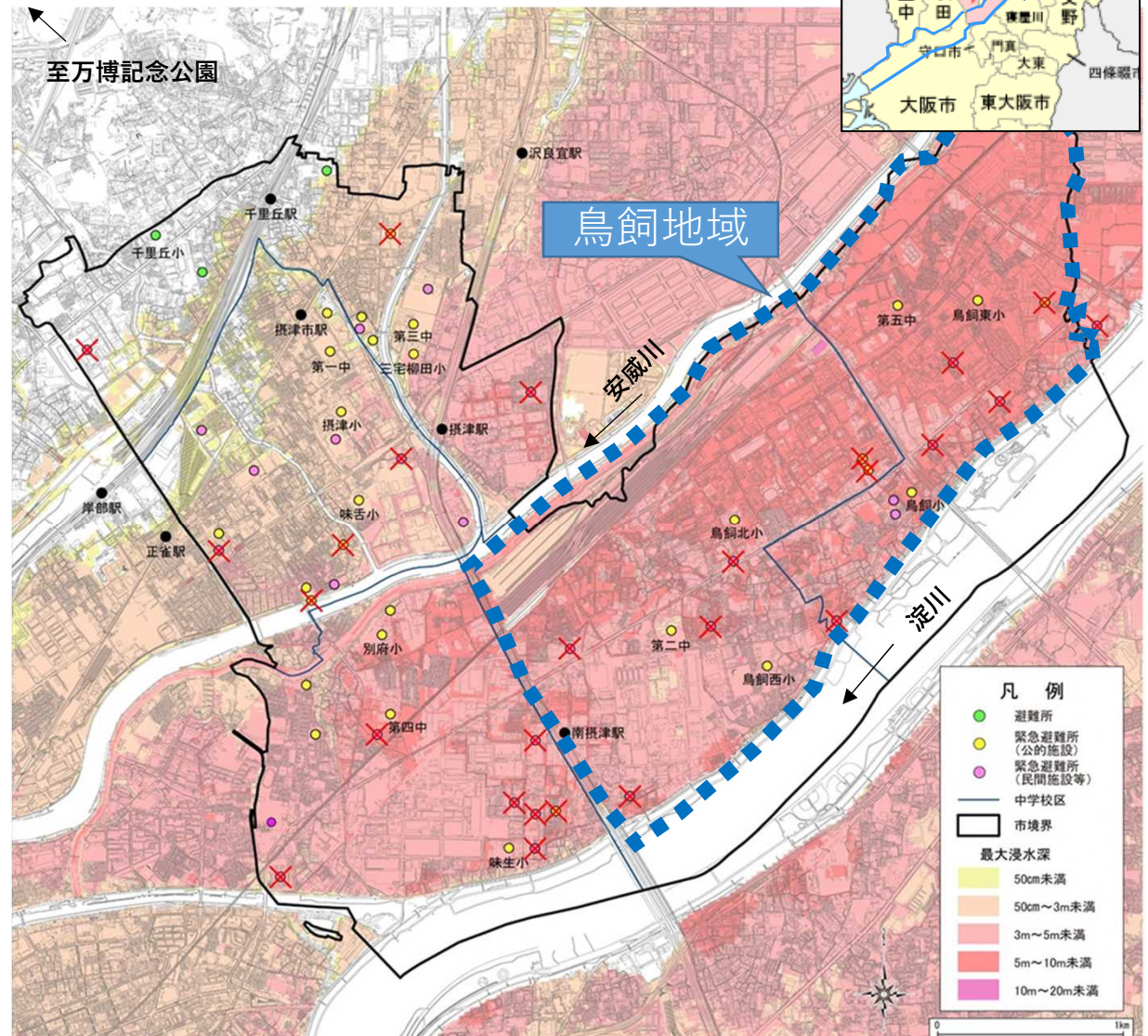
【避難経路】

- ・徒歩・モノレール：長時間を要する
- ・自動車：幹線道路が渋滞

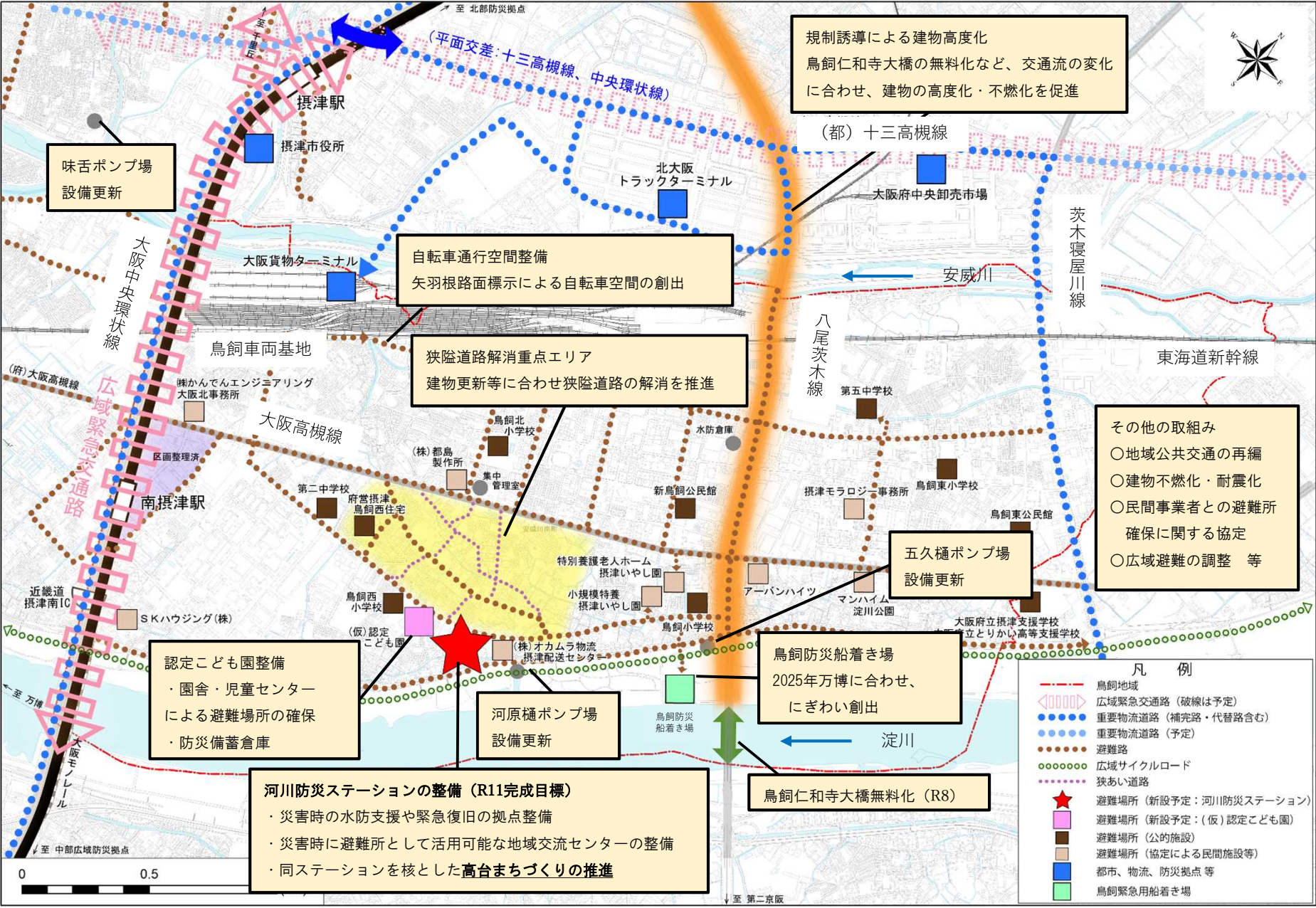
【避難に関するこれまでの取組み】

- ・地域版HM作成 (51/106自治会)
- ・市内事業所との避難所協定
(30社と交渉し、6社と締結)
- ・広域避難先として万博公園と交渉

最大浸水深（安威川+淀川（想定最大）の重ね合わせ）



摂津市鳥飼地域における安全・安心のまちづくりイメージ (案)



味舌ポンプ場
設備更新

河川防災ステーションの整備 (R11完成目標)
・災害時の水防支援や緊急復旧の拠点整備
・災害時に避難所として活用可能な地域交流センターの整備
・同ステーションを核とした高台まちづくりの推進

認定こども園整備
・園舎・児童センター
による避難場所の確保
・防災備蓄倉庫

狭隘道路解消重点エリア
建物更新等に合わせ狭隘道路の解消を推進

自転車通行空間整備
矢羽根路面標示による自転車空間の創出

鳥飼防災船着き場
2025年万博に合わせ、
にぎわい創出

鳥飼仁和寺大橋無料化 (R8)

規制誘導による建物高度化
鳥飼仁和寺大橋の無料化など、交通流の変化
に合わせ、建物の高度化・不燃化を促進

その他の取組み
○地域公共交通の再編
○建物不燃化・耐震化
○民間事業者との避難所
確保に関する協定
○広域避難の調整 等

- 凡例
- 鳥飼地域
 - 広域緊急アクセス道路 (破線は予定)
 - 重要物流道路 (補完路・代替路含む)
 - 重要物流道路 (予定)
 - 避難路
 - 広域サイクルロード
 - 狭あい道路
 - ★ 避難場所 (新設予定: 河川防災ステーション)
 - 避難場所 (新設予定: (仮)認定こども園)
 - 避難場所 (公的施設)
 - 避難場所 (協定による民間施設等)
 - 都市、物流、防災拠点等
 - 鳥飼緊急用船着き場